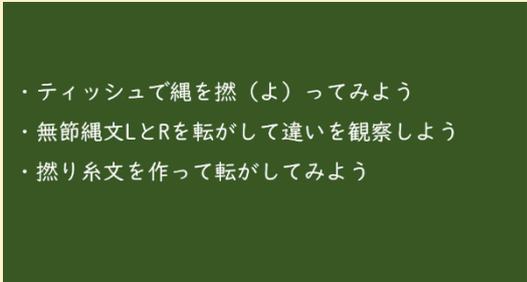


事例名			
日常の活用例(「縄文原体をつくってみよう」における講義スライドの活用と成果物の全体共有)			
校種・学年	高等学校・2年		
教科・科目・単元・題材	地理歴史科・日本史探究「縄文文化の成立」		
学校名<任意>	—	事例報告者氏名<任意>	—
機能名(アプリ名)	パワーポイントおよびロイロノート		
ICT活用のポイント			
<p>①授業内容は授業プリントと解説用のスライドを用いる。スライドはパワーポイントで提示する。</p> <p>②縄文土器の縄目文様を生徒各自が粘土と縄目(縄文原体)を使って再現し、成果物をロイロノートの資料箱に提出、クラス内で共有する。</p> <p>③授業後、講義用のスライドは動画化して生徒に配布する。</p>			
活用場面			
<p>①縄文時代の文化について講義する。その際、スライドをパワーポイントで提示する。</p> <p>②縄文土器に関する説明と縄文土器の写真、縄文原体の作り方をパワーポイントで提示し、解説する。 &lt;以下のURLを参考にスライドを作成&gt;</p> <p>1) <a href="https://www.city.sayama.saitama.jp/manabu/dentou/cp_survey_report.files/jyoumonmonyou.pdf">https://www.city.sayama.saitama.jp/manabu/dentou/cp_survey_report.files/jyoumonmonyou.pdf</a>(縄文土器の文様を作ろう!)</p> <p>2) <a href="https://www.youtube.com/watch?v=8WJPKaOi5B0">https://www.youtube.com/watch?v=8WJPKaOi5B0</a>(まいぶん古代体験マニュアル「縄文土器をつくろう」その1)</p> <p>③生徒は、各自授業者の解説や日本史資料集を参考に、粘土の上に縄目土器の縄目文様を再現する。</p> <p>④できた縄目文様を各自写真に撮り、ロイロノートの資料箱に提出する。</p> <p>⑤授業者は教室前方のスクリーンに全員の写真を提示し、できたものを共有する。</p>			
		<p>左:実際に使用したスライド(作業内容を明示)</p>	
<p>※著作権の関係上写真等は不記載にしています</p>			

授業者のコメント・児童生徒の主な反応等

- ①パワーポイントのスライドで縄文原体の作成手順や分類を示したので、生徒は作業に取り組みやすかったようだ。
- ②全体でできたものを共有したことで、各々作った文様の個性が見て取れ、生徒は土器の文様に対してより理解が深まったようだ。
- ③普段の授業でも講義内容は授業プリントに沿ってパワーポイントで提示しており、要点をまとめたスライドの活用は大勢の生徒に対して、重要事項を効率よく伝えるのに効果的だと感じている。また、授業のスライドを動画化したものを授業後に生徒に配布することにより、生徒自身の復習にも役立つものと考えられる。
- ④授業進度や共通テストおよび大学の一般入試に向け、講義が授業のメインではあるが、適宜生徒に考えさせたり、体験させたりする内容を取り入れたいと考えているので、生徒同士の意見共有の方法として、今回のような使い方を授業で実践し、より効果的な使い方ができるように精査していきたい。